



白河市 議会だより

2022.1.28

11月臨時会
12月定例会

VOL.65



希望の光を灯す

～南湖公園と竹灯籠～



〈令和3年11月臨時会・12月定例会〉

目次

- ・令和4年今年の抱負…………… 2～3p
- ・11月臨時会／12月定例会 …… 4～5p
- ・各常任委員会の審査…………… 6p
- ・13名が一般質問 …… 7～13p
- ・3月定例会予定／議会傍聴ほか／編集後記…………… 14p



ごあいさつ

議長 筒井孝充

市民の皆様には、日頃より市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、全国各地に緊急事態宣言等が発出されるなど、コロナウイルスに翻弄された一年でしたが、本年に入り、再び、感染力が強いとされるオミクロン株が猛威を振るい、第6波が到来しています。

最前線でご尽力いただいております医療や介護、保育などのエッセンシャルワーカーの皆様には心から感謝の意を表します。

私たち市議会は、本年も医療・介護・子育て・災害対策の充実強化をはじめとする諸課題の解決に向け、全力で取り組んでまいりますとともに、議員一人ひとりが議会の使命と責任を自覚し、不断の研鑽と努力を重ねながら、市民の付託と信頼に応えられる議会を目指してまいります。

本年が皆様にとりまして幸せで大きいなる飛躍の年となりますように心よりお祈り申し上げます。



大木絵理

子育て、教育に力を入れ取り進む



吉見優一郎

経済活動再開と子供達の笑顔を!!



鈴木裕哉

誇れる街「白河」を創ります




高富裕

初心を忘れず市政進展に尽力します



戸倉宏一

市政に全力投球



荒井寿夫

持続可能なまちづくり 具体的行動へ



根本建一

農業振興のためがんばります



室井伸一

コロナに負けない健康づくり



緑川摂生

助けあい支えあう 白河をめざして



柴原隆美

日々人に感謝し 人に尽くす年に



菅原修一

地域振興と市民の利便性向上に全力



北野唯道

慶賀 梅破^{ほころ}び春の近きに 民の幸せ祈る

防災力強化など
安心安全な社会構築



藤岡文美

白河の明るい未来
実現に奔走します



佐川京子

ふるさと
子や孫への贈りもの



水野谷正則



大花 務

市民のパイプ役
として働きます。



令和4年壬寅

今年（令和4年）の抱負



高橋光雄

力を合わせて
デフレを克服しよう



石巻國光

みんなできつくる
安心できる白河



縄田角郎

子供からおとしよゆ
まで安心安全を



須藤博之

コロナに負けない
元気な白河を創る



山口耕治

住民自治を目指し
安心の地域づくり



大竹功一

声なき声に、目・足を傾けたい



筒井孝亮

市政進展市民の
福祉向上に努めます



深谷 弘

欠かさず一般質問
声を届け続けます

市長、職員、議員の期末手当が令和3年12月支給分から引き下げ

会計年度任用職員は令和4年度から適用

福島県人事委員会勧告に準じ「白河市一般職の任期付職員の採用等に関する条例」など4議案の改正を行うため、11月30日の1日間開催され、下表以外の2議案は全会一致で原案のとおり可決しました。

11月臨時会
11/30

11月臨時会賛否一覧

議案名 ※○は賛成 ●は反対 ※議長(筒井孝充)は採決 に加わらない	採決結果	大木 絵理	吉見 優一郎	鈴木 裕哉	高畠 裕	戸倉 宏一	荒井 寿夫	根本 建一	室井 伸一	緑川 摂生	柴原 隆夫	菅原 修一	北野 唯道	水野 谷正則	佐川 京子	藤田 文夫	大花 務	縄田 角郎	石名 国光	高橋 光雄	大竹 功一	山口 耕治	須藤 博之	深谷 弘
議案第84号 白河市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第87号 白河市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

12月定例会
12/8~12/21

子育て世帯への臨時特別給付金事業に係る経費など全16議案を全会一致で可決または同意

令和3年12月定例会は12月8日から21日まで14日間開催され、「白河市国民健康保険条例の一部を改正する条例」など提出議案16件(先議予算1件、条例案6件、単行議案4件、予算案3件、人事案2件)、報告2件が提出され、付託案件は各常任委員会で審査しすべてを全会一致で可決・同意しました。12月定例会の一般会計補正予算額は24億2,887万8千円で、今年度総額342億4,818万4千円です。一般質問は3日間にわたり13人の議員が市政全般について質しました。

また、議員提出議案である「米価下落に対する緊急対策を求める意見書」を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

予算は何に使われている？

予算 PICK UP

～補正予算額の中でも特に注目した事業をご紹介します～

もっと詳しく！

●常任委員会の審査過程は
6ページ

●一般質問は
7～13ページ

全ての議案の
審査結果は市
議会ホーム
ページをご覧
ください。



コロナ対策費 21億 7,039万 6千円のうち、おもな事業

- 新型コロナウイルス感染症予防対策事業(議案99号 一般会計補正予算7号) … 2億7,102万1千円
ワクチン3回目接種(追加接種)に係る経費
- 商工業振興対策事業(議案101号 一般会計補正予算8号) ……5,918万3千円
事業者等にPCR検査キットを配布し、感染の早期発見やまん延防止に取り組む
- 子育て世帯へ臨時特別給付金支援事業
(議案88号 一般会計補正予算6号及び議案101号 一般会計補正予算8号) ……9億4,836万円
議案88号は開会日に議案101号は閉会日にそれぞれ全会一致で可決し、子ども1人につき10万円を給付する。

この事業に注目！

しらかわ観光ステーション整備事業 201万5千円

しらかわ観光ステーションとは？・・・

JR白河駅に隣接する既存の建物を駅舎南側に移築、改修し、本市の「観光拠点」として整備するもの。単なる案内所ではなく、来訪者が楽しみながら観光メニューを体感し、観光ルートを考え、小峰城や南湖、まちなかへと出かけるための背中を押す役割を担う『体験型観光案内所』です。

今回の予算は駅舎東側にあるコンピエーニュ広場をしらかわ観光ステーションと一体的に活用するために必要な設計などに関する費用です。



白河市議会は 国に対して

「米価下落に対する緊急対策を求める意見書」

を提出しました！

〈 意見書を提案した背景 〉

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外食需要が落ち込み、米価が大きく下落している。

生産資材が高騰する中、米農家のほとんどは赤字経営となっている。

この状況が続けば稲作を中心とする本県農業へ甚大な影響が懸念される。



〈 意見書の概要 〉

持続可能な水田農業の維持・発展に向け、次のとおり強く要望する。

1. 余剰在庫米を政府が買い取り、市場から隔離すること。
2. 稲作農家に対しても、コロナ禍における他業種の経営支援策と同様の支援策を実施すること
3. 適正な民間在庫量とするため、水田活用の直接支払い交付金をはじめとした作付け転換を実現するための予算を継続的かつ十分に確保すること。など



玄葉光一郎衆議院議員には昨年12月27日に、上杉謙太郎衆議院議員には1月7日に、支援の必要性を強く働きかけ、意見交換を行いました。

この意見書は全会一致で可決されました。

私たちにとって、なくてはならないお米。それを作る米農家の方々を守るために、議会が一丸となって取り組みます。



地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思をまとめたものであり、国会や関係行政庁に提出をする文書。何らかの意思を法的に表明することを目的として認められたもの。意見書を提出する要因としては、住民からの声である請願や陳情があったときや、議会独自の意思に基づく場合がある。

任期満了に伴い **教育委員に北条氏を任命、公平委員に宮本氏の選任を同意**

白河市教育委員 北条 睦子氏 (東上野)

教育委員とは…地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する機関である教育委員会の委員。本市は4名の委員で構成されている。任期は4年。

白河市公平委員 宮本 多可夫氏 (旭町)

公平委員とは…地方公共団体職員の利益の保護と公正な人事権を保障するために設置された公平委員会の委員。本市は3名の委員で構成されている。任期は4年。

教育福祉 常任委員会

ギガスクールサポーターとして ICT技術者を小中学校へ配置

「白河市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」のほか、議案5件が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

● 議案第99号 令和3年度白河市一般会計補正 予算（第7号）

Q | ギガスクールサポーターのICT技術者の学校配置に伴うシステム構築・運営支援のための委託料とは？

A | タブレット端末を新1年生が使えるように、それまで小学6年生、中学3年生が使用していた端末の設定を変更する作業のためギガスクールサポーターを配置する費用である。



市民産業 常任委員会

PCR検査キットを市内の中小事 業者等へ配布

「白河市企業立地促進条例の一部を改正する条例」のほか、議案3件が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

● 議案第101号 令和3年度白河市一般会計補正 予算（第8号）

Q | 中小事業者感染症予防対策支援事業の内容と対象者は？

A | PCR検査キットを購入し希望事業者へ配布し、感染の早期発見と拡大防止を図る。配布先は市内の中小事業者、個人事業主、NPO法人及び社会福祉法人等で、1月下旬を目途に配布開始したい。

総務 常任委員会

東文化センターの指定管理者 にNPO法人カルチャーネット ワークを選定

「白河市税特別措置条例の一部を改正する条例」のほか、議案5件が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

● 議案98号 白河市東文化センターの指定管理 者の指定について

Q | 指定管理の具体的な評価内容は？

A | 「カルチャーネットワークは管理運営実績がありチケット販売など、コミネスと連携した事業展開が期待できることなどが評価された。貸館業務では利用者から一定の好評を得ている」との意見があった。

建設水道 常任委員会

白河駅舎隣にしらかわ観光ステ ーションを建設！ コンピエーニュ広場との一体的 な賑わいの創出を目指す

「損害賠償の額の決定及び和解について」のほか、議案1件が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

● 議案第99号 令和3年度白河市一般会計補正 予算（第7号）

Q | (仮称) しらかわ観光ステーションの概要と駐車場の確保は？

A | まちなかの回遊性向上、賑わい創出に寄与できる。観光客などの利便性向上を念頭に、周辺駐車場の活用を図る。また、各種団体と連携し、市民参加型のより良い検討する。

現地調査

大倉矢見三輪台線

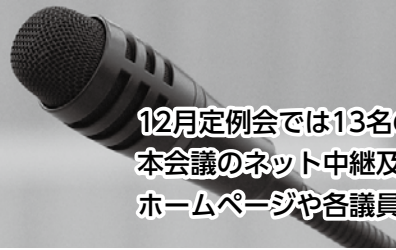
今年4月開通予定の「大倉矢見三輪台線道路改良工事」の現地調査を12月17日行いました。同線は平成27年度から令和3年度までの事業で事業費総額は3億8,000万円の見込みです。





- ◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。
- ◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。
- ◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

一般質問



12月定例会では13名の議員が一般質問を行いました。
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。
ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



12月定例会において延べ27名の方が傍聴にお越しくださいました。
ありがとうございました。



コロナ禍に翻弄された一年、来年に向け市長の展望を



暗中模索は続いたが、明るい光は必ず見えてくると確信している

北野 唯道 議員

問 二年続きとなったコロナ禍に翻弄された令和3年を振り返り、この一年を総括するとともに疲弊した市民生活に明るい希望を抱かせるような、来年に向けての市長の展望を。

答 本年も新型コロナウイルスにより医療や社会経済に甚大な影響が及んだ一年になった。私は、行政として、まずは市民の命を守る事が第一と考え、感染症の拡大防止に向け、2月初めに「コロナワクチン推進室」を立ち上げた。コロナ禍で暗中模索の状況が続いたが、明るい光は必ず見えてくるものと確信している。

問 本市における生活保護費の不正受給の実態と今後について

答 生活保護法第78条では「不実の申請その他不正な手段により保護を受け、又は他人をして受けさせた者があるときは、保護費を支弁した都道府県又は市町村の長は、その費用の額の全部又は一部を、その者から徴収する」とあり、本市の令和2年度の適用件数及び徴収決定額は15件、395万1579円である。

今後、適正な指導、徴収を徹底し、不正受給の未然防止に努める。



女性目線で観光資源をブラッシュアップ



観光客の求める流行を的確にとらえる

佐川 京子 議員



二ノ丸茶屋

問 白河の魅力ある観光資源に女性目線でさらにブラッシュアップし集客や売り上げを増やしてはどうか。

答 今後は魅力の増してきた観光資源をしっかりと発信し、観光客の求める流行を的確に捉えアフターコロナの観光誘客に取り組む。

問 しらかわ観光ステーションに駐車場を完備してほしい。

答 既存の公共駐車場の活用を考えている。

問 米価下落により窮している農家の支援策について

答 米価に左右されない非主食用米への支援を検討していく。

問 農振地域の見直しは必要と考えるがどうか

答 定期的な見直しの必要性があると考えるが慎重に進める。

問 いじめの重大事態の対応について

答 市長に報告し調査主体・組織を判断する。公平性・中立性を確保した人選を行う。

問 男女共同参画の今後の取り組みについて

答 男性の家事参画等参加体験型の事業を検討している。



今後の健康づくりの取り組みは

健康になれるスマートウェルネスシティの実現に取り組む

室井 伸一 議員

問 コロナ禍における市民の健康づくりについて

答 新型コロナウイルス感染症や生活習慣病に負けない健康づくりのためには「新しい生活様式」に沿った感染予防の継続と健康寿命の延伸の両立を図っていくことが大変重要である。健診などの保健事業に加え、生きがいづくりや高齢者が集まりやすい場所づくり、文化とスポーツの振興など、幅広い視点から健康づくりを進めてまいる。

問 高齢者世帯や高齢者の単身世帯を対象にした住宅用火災警報器設置及び更新費用の一部を助成することについて

答 住宅用火災警報器については、平成30年度まで日常生活用具給付事業による助成を実施していたが、利用者が少なかつたなどの理由により、事業が終了していた。しかし、住宅用火災報知器の設置義務化から10年が経過し、設置機器の更新時期を迎えたものも多くあることも想定されるため、高齢者が在宅での生活を安心して送れるよう、設置助成について検討してまいる。



住宅用火災警報器

自ら学び続けるために。10周年を迎えた図書館のこれからは



図書館を心のオアシスとなるよう努める

戸倉 宏一 議員

問 市長就任以来、他の市町村に先駆けて教育文化の振興に努めていることは十分評価している。開館10年の市立図書館を今後、どのように運営し、市民の多様な要求にどう応えるのか。

答 人類は常に知を探求し記憶を保存する文字を発明した。体系的に整理・保存・提供してきたのが図書館である。これからも蔵書の拡充・施設の整備や維持・職員教育を充実させ、日々の生活に潤いや活力が生まれ、生きていく力を育む「心のオアシス」となるよう努力する。

問 統合による大信地区の大屋小、信夫二小校舎の今後の活用計画を伺う。

答 旧校舎の再利用は重要な課題と認識している。現在、廃校舎等利活用庁内検討委員会を設置し、近隣の自治体の利活用を参考にしながら検討している。一方、築50年、37年経過し



施設の老朽化も進んでいるなど諸課題もある。今後、地域の皆様の意見を伺うとともに、多様な提案を募るため市のホームページのほか文部科学省のホームページの全国廃校情報紹介欄に掲載する予定である。

これでいいのか市総合防災マップ?過去の崩落状況の掲載を



関係機関と相談し、掲載に向け検討したい。

大竹 功一 議員

問 現在、市が各戸配布している「総合防災マップ」には県が指定している「土石流警戒区域や急傾斜警戒区域等」は掲載されているが、過去の災害で崩落した場所等について掲載されていない。対応すべきではないか。

答 ご指摘のとおり、崩落場所の中には、通学路も含まれており、県や関係団体と協議の上、対応を検討したい。

問 昨年5月、全国一斉学力テストが行われた。結果と課題に向けた取組について伺いたい。

答 全国平均・県平均をやや下回ることもあったが、概ね全国・県平均同等までの学力に到達している。小6・中3ともに「書くこと」領域の正答率は、全国平均を上回ったが、小6の算数では「図形」、中3の数学では「記述式」問題で正答率が低く課題となっている。各学校と協力し、課題解決のため、公開授業等を利用し、教師の力量向上を図っている。



体験型観光への施策は



学び経験できる小峰城へ

石名 国光 議員

問 変異ウィルス感染が考えられる中、新年度予算編成に向けて市長の思いを伺う。

答 新年度予算編成では、コロナ対策に万全を期し、市民生活の利便性を向上させる迅速な情報伝達、企業の生産性を高める施設・設備のデジタル化を進め、今後の編成課程で十分に議論し、職員と知恵を絞り将来を見据えた施策に優先的に配分してまいらる。

問 小峰城東側丘陵の樹木伐採・帯曲輪と搦手門東側石垣修復計画と、体験型観光施策を伺う。

答 帯曲輪整備が今年度末完了、来春に公開の見込み、搦手門東側石垣修復は令和4年度完了予定。整備後は新たな周遊コースの提案や石積観察、門・櫓の役割などの「学び」を取り入れた体験ができるなど、小峰城の魅力を楽しめるような施策を検討してまいらる。



小峰城跡帯曲輪



搦手門脇東側石垣状況

問 民生児童委員の労力を少なくする「死亡・施設入所等」連絡体制を伺う。

答 介護入所は可能な範囲で情報を提供している。今後は会員の負担を少しでも軽減し、円滑な活動に取り組めるよう、亡くなった方のリストを毎月の定例会で提供していく。

介護保険制度がかかえる課題とは何か



「財源」と「介護人材の確保」

高橋 光雄 議員

問 介護保険制度は、家族介護から社会全体で高齢者の暮らしや健康、安全を保障するために創設され、今年で21年目を迎えた。その成果と課題及び高齢者介護施設の在り方を伺う。

答 この制度により、訪問・通所サービスや施設サービスなど、必要なときに必要なサービスを利用できるようにになり、家族の負担が軽減された。しかし、利用者の増加による介護保険財政の悪化、人手不足などから地域包括ケアシステムを構築し、再び在宅介護に戻す方向へと舵を切ったところである。介護保険制度の抱える課題は、「財源」と「介護人材の確保」。公費負担や自己負担の割合を議論する時期が早晚やってくる。

介護施設は慢性的な不足状況にある。本市でも、晩年を安心して暮らせる必要不可欠な社会資本として特別養護老人ホームを、令和6年開所を目指して整備する。公募の結果、湖山医療



医療保険に加入している
40～64歳の方は
第2号被保険者



65歳以上の方は
第1号被保険者



福祉グループの平成会が市内立石山に建設、運営する規模は、入所100床、シート20床、介護職員49人を予定している。

北の玄関国道294号 壮大な石垣を生かした景観を



石垣を顕在化し、江戸時代の植生を参考に整備

柴原 隆夫 議員

窓 補助制度を拡充し、緑の連続性を基軸とした街並みの景観づくりを地元と協議しながら進める。

窓 国道294号の拡幅に伴い横町、田町の景観づくりを進めているが行政はどう関わるのか。

窓 「杉林」を伐採し高さ7m、長さ180mに及び壮大な石垣を再現し、絵図に描かれている江戸時代の植生を参考に整備する。

窓 この「杉林」の丘陵を桜や紅葉が楽しめる景観づくりの整備をし、城山公園への立ち寄りを誘発する観光づくりは有効かと。

窓 「杉林」の東側丘陵が目に入る。名所旧跡では「桜と紅葉」の季節になると行楽客が殺到する。

窓 国道4号と東北自動車道に直結する国道294号の完成は、白河の北口玄関となり大きな「人」「物」の流れが起こり、阿武隈の清流にかかる小峰大橋に入ると真っ先に小峰城史跡の



「杉林」が伐採され高さ7m、長さ180mの石垣が再現される

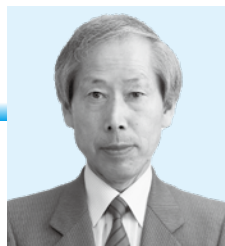


国道294号にアクセスし有効活用が期待される宝酒造跡地

窓 土地の活用が決まってから調査を行う。

窓 宝酒造跡地は史跡であり発掘調査が必要で、調査に4年〜5年を要することだが、有効活用が生じた場合、即利活用ができるよう先行調査することは。

「ジェンダー・ギャップ」解消と脱炭素都市具体化を



男女格差是正を啓発し脱炭素施策を検討・着手する

荒井 寿夫 議員

窓 ゼロカーボン・シティ宣言を具体化するためには温室効果ガス排出の抜本的削減のため再エネ発電投資、公共交通機関、電気自動車、建物住宅等への支援、企業事業所や農業の脱炭素経営そして市民の環境配慮生活への変容、学校教育への気候変動教育等を要するが。

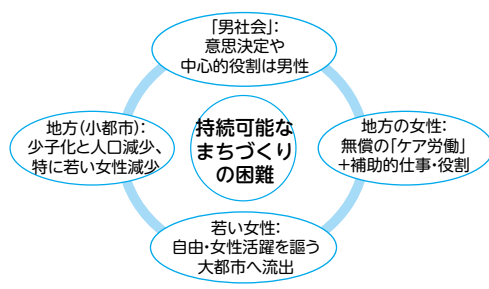
窓 ジェンダー・ギャップは無意識に制度や習慣に組み込まれ、解消には大胆な取組を要する。本市は市民への啓発、企業の格差是正への働きかけを続ける。

窓 地方では「男社会」↓若い女性の大都市流出・人口減少↓「男社会」の悪循環を生んでいる。その解消が必要だが、どう考えるか。

窓 この間の少子化の加速の根底には無償のケア労働の女性への圧倒的偏りのうえでの性別役割の固定化というジェンダー・ギャップがあり、地方の少子化対策の盲点である。しかもそれは地方では「男社会」↓若い女性の大都市流出・人口減少↓「男社会」の悪循環を生んでいる。その解消が必要だが、どう考えるか。



SDGs (持続可能な開発目標) 17の目標



地方の少子化対策の盲点：「ジェンダー・ギャップ」の悪循環の解消

窓 本市は環境基本計画のなかで再エネ取組、公共交通や建物、企業や農家には補助制度活用、市民には「Eシカル消費」等、学校ではESD年間教育計画等を行う。

学校現場におけるジェンダー平等推進について



多様性についての理解を深めながら進める

須藤 博之 議員

問 多様性を尊重した共生社会について

答 誰もが暮らしやすい世の中とするには、広く社会を包み込む寛容性や、互いの違いを認め合う心を育むことが大事であり、その実現に向け、共感力やコミュニケーション力を高め、様々な人たちと交流できる環境の充実などに一段と注入り、人の心を隔てている見えない壁を取り払いながら、多様性を尊重した社会の実現を目指す。

問 学校におけるジェンダー平等、男女混合名簿について

答 子供たちが将来よりよい人間関係を築き、力強く生きていくためにもジェンダー平等の理念を学ぶことは重要である。男女混合名簿は全ての小学校と2つの中学校で利用しており、男女共同参画や人権教育の観点から全ての学校で作成するように指導する。



障がいがある子もない子も一緒になって遊ぶことができるインクルーシブな遊具



男女の別なく保健体育科で取り組む様子

問 親子・高齢者・障がい者が利用する身近な公園の整備と、インクルーシブ公園・遊具の導入について

答 既存公園の有効活用方法や先進的な事例も参考にし、検討する。

学校統合によって遠距離通学となる生徒へ支援を



定期券の交付を行う考え

鈴木 裕哉 議員

問 学校統合を見据えた中で遠距離通学となる児童・生徒への対応について伺う。

答 来年4月に開校する大信小学校は、現在の信夫一小が校舎となるため、遠距離通学となる信夫二小と大屋小の通学区域の児童へは、路線バスがないことからスクールバスを運行する。

また、五箇中と中央中は令和6年4月の統合となるが、統合後の五箇地区の生徒には路線バスの利用を想定している。

補助については、現在、中央中へ路線バスを利用している生徒と同様に定期券の交付を行う考えである。

問 白河には総合運動公園(中田)と大信・東地区と3つのプールがあるが、時代の流れとともに社会構造も変化し、利用者の求めるものも変わってきている。なかでも築47年が経過している中田の市民プールについて、今後の方針を伺う。

答 中田の市民プールは、建物や設備等の老朽化が進んではいるが、適宜修繕を行い、適切な維持管理に努め、今後も使用していきたい。





全国499人。子供が自らの命を絶った現実をどのように捉えているのか



山口 耕治 議員

命の尊さを学びつつ、SOSの出し方を指導し、自殺予防に努める

問 令和2年において、児童生徒の自殺数は全国で499人になり、前年から100人も増加したとの報告がある。この問題を教育長としてどのように捉えているのか、また、原因と対処方法についてお尋ねする。

答 自殺を防ぐ基盤となるのは、心の居場所となる温かな家庭があること、また、児童生徒が自尊心を高め、友達と良好な関係を築いて生活することが大切である。学校では、道徳科において発達段階に応じた教材をとおして命の大切さを学んでいる。さらに、道徳の時間を要として、教育活動全体を通じて命の尊さについても指導している。

また、今年度から「SOSの出し方に関する教育」を教育課程に位置付け、困ったら相談することが大切であることや、SOSの出し方について具体的に指導している。

今後、教員が、悩んでいる児童生徒を早期に発見するとともに、家庭や関係機関と連携を深めながら児童生徒の自殺予防に努めている。

一人でも悩まず、電話で相談してください
ふくしま24時間子どもSOS
0120-916-024
いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話
ダイヤルSOS
0120-453-141
(月～金/10時～17時)

～第2次～ 概要版
いきいき健康しらかわ21
白河市健康増進計画・自殺対策計画
計画期間：2019年～2023年（後期）

めざすまちの姿は
～いきいきと健やかに明るい笑顔があふれるまち～

基本目標【健康寿命の延伸】

基本目標を達成するために9つの重点施策を推進します。

- ① 生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進
食生活の改善や運動習慣の定着による一次予防と重症化予防対策を進めます。
- ② 健康を支え、守るための社会環境の整備
高齢一人ひとりの健康に安心・安全な暮らしづくりを取り組むや、食、住、地域、職業で健康を支える環境整備を進めます。
- ③ 生活環境及び社会環境の改善
災害・防災、身体活動・運動、交通、福祉及び、心の健康に関するさまざまな生活環境の改善に取り組めます。
- ④ 医療に対する健康管理の推進
個別に対応する健康相談体制を整えます。
- ⑤ 次世代の健康
生活しわたる環境づくりと、それを次世代へ継承するため、養育となる子育て支援の実現を図ります。
- ⑥ 自殺対策の推進・生きることの包括的支援 ～自殺対策計画～
地域社会が連携して様々な自殺対策のための施策を推進します。

「いきいき健康しらかわ21」



教育のICT化(情報通信技術を活用した教育)をどのようにすすめるのか



深谷 弘 議員

教員のICT活用能力をつかみ、研修を通じ技術力向上に努めている

問 教育のICT化について、GIGAスクール構想で各学校の施設・タブレット端末等の整備が整った。教育のICT化(情報通信技術を活用した教育)はどのように進められているのか。教員のICT活用指導力向上について、中教審(国)は「現職のすべての教師に求められるICT活用に係る基本的な資質・能力を示した『教員のICT活用指導力チェックリスト』の活用を求めているが、現場ではどうなっているか。

答 「チェックリスト」を用いて教員のICT活用能力を把握し、研修に役立てている。これまで全職員対象のリモート研修1回、小中学校ごとの研修を複数回実施し、教員の技術力向上に努めている。


公共施設個別施設計画

問 公共施設の計画的な更新・統廃合・長寿命化については、「新たな制度を検討する」となっているがどういったことが。

答 新築、改修や修繕に係る費用のうち、地元負担3分の1、市が3分の2を補助する制度の導入である。



令和2年度
白河市公共施設個別施設計画



令和3年3月
白河市
Shirakawa city

3 月定例会の予定 正式には2月24日の開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

2月24日(木)	本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
3月2日(水)	本会議【一般質問1日目、委員会付託(請願・陳情)】
3日(木)	本会議【一般質問2日目】
4日(金)	本会議【一般質問3日目】
7日(月)	本会議【総括質疑、委員会付託(議案)】
8日(火)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
9日(水)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
10日(木)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
14日(月)	本会議【委員長報告、各案件表決、閉会】

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴の際は検温、マスク着用、手指消毒にご協力をお願いします。

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。

こちらのQRコードを読み込んでください。



小学6年生が議会傍聴



小野田小学校6年生15名が、社会科「市議会の役割」を学ぶために12月15日、議会傍聴に訪れました。

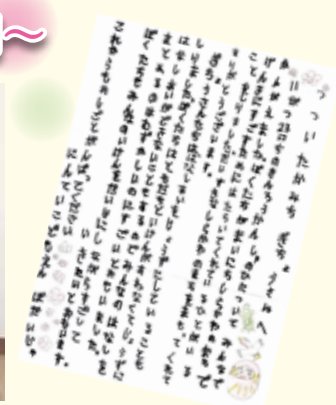
「話し合いの仕方も見れたので、この経験を大切にしたい」「学級会のお手本のようなので」「女性が少なくて驚いた」「見学しないと分からないことを学ぶことができました」といった感想もいただきました。

どのような時代でも、自分の目で見て感じる経験は大切です。児童生徒の皆さんの議場見学をお待ちしております。



かわいいお客さま～勤労感謝の日訪問～

勤労感謝の日に合わせて、認定こども園ぼだい樹、西こども園、さくらの木の園児がいらっしゃいました。同園では毎年、園児自らがお米を育て収穫し、食と命の教育を行っています。その大切なお米を代表の園児が手紙とともに届けてくれました。(令和3年11月24日)



議会報編集委員会



鈴木裕哉 室井伸一 大木絵理 高島裕 佐川京子副委員長 石名国光委員長 大木委員

南湖神社の夜に、やわらかい光が灯された。表紙の写真は南湖神社の参道に並べられた竹灯籠だ。竹に大小の穴をあけ、見事な模様や文字を描いている。光が灯されると穴からやさしい光がこぼれ、訪れた方々の足元を照らした。これは、福島市飯坂町の「竹とうろうの会」の協力を得て実現した。市内に住む若い女性の方々が中心となって製作に取り組んだそう。

このご時世、人とのつながりがデジタル化している。それは決して悪いことではないが、一つのものを通して、五感をフルに使って、人と、地域とつながることはいいものだと思います。

議会もこの竹灯籠のように、白河市の未来へ希望の光を灯してまいります。

編集後記



議会だよりはホームページでご覧になれます。 ホームページアドレス <http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/> 発行：白河市議会 編集：議会報編集委員会 〒961-8602 福島県白河市八幡1-1 ☎0248-22-1111